

課題と対策

① 学童クラブで楽しいあそびはありますか？

「楽しいあそびがある」と回答した児童は80%強でした。(昨年70%弱)

今年は、室内あそびの充実を図り空き箱製作の材料を増やしました。また折り紙や色ペン、うつし紙、塗り絵などを提供したことであそびの幅が広がりました。出来上がった作品を掲示したことで今まであそんでいなかった子ども達も興味関心を持ち、次はこんなものを作りたいと次々作品が増えていきました。

外あそびでは、広い校庭で思い切りあそべるようにとサッカーゴールとサッカーボールも新たに提供し毎日元気にあそぶ姿が見られます。

友達とわいわいあそびたい、1人でじっくりあそびたい、職員とのんびりあそびたい・・・それぞれのあそびが安心安全のなか思う存分取り組めるよう、これからも環境設定に努めていきたいと思えます。

② 困った時、話したい時に学童の先生は、話を聞いてくれますか？

いいえと答えた児童は9.8%

聞いてあげられなかった子ども達に申し訳なかったという思いでいっぱいです。

信頼関係を築くためには、子どもを1人の人間としてみつめしっかり話を聞くことが大切だと思っています。今一度、基本に戻り子ども達に向き合っていきたいと思えます。また、いつでも職員に伝えられる方法として10月から事務室入り口に「せんせい、あのね・・・」BOXを設置しました。

③ 毎日手作りおやつだったらうれしい(意見要望子ども記入)

今年度は、4回手作りおやつを作って食べました。

班のお友達と一緒に作って食べるおやつの時間が好きな子ども達です。子ども達から

「パフェが作りたい！スイートポテトがいい！おにぎりやピザも作ってみたい！」と様々な声が上り次回は、ホットプレートを使用しておやつ作りを計画しています。

子ども達と材料選びや作り方の手順など一緒に考えていきたいと思っています。

④ 乱暴な子やいじわるな子、暴言、ケンカがないといいなあ(意見要望子ども記入)

学童は、平日の放課後の時間の他にも三季育成期間は、8時～19時の育成時間となっています。異年齢の子ども達62名と一緒に生活する場所です。

子ども達は、自分の思いを出し合い時には気持ちがあつかりケンカになってしまう事もあります。相手の気持ちに気づき自分の考えとは違う事を知りそこから折り合いをつけ次に進んで行く姿が毎日のように見られます。職員は、学年ごとの発達の特徴を理解し子ども達が主体的に考え行動できるようサポートに努めたいと考えています。

決して暴力や暴言では解決できな事、いじわるをするのではなく言葉で伝え聞くことが大切であると伝えていきたいと考えています。